

科目名	重唱研究 I	形態	演習	開講期	春
担当教員	松下 雅人	単位	1	年次	3

＝授業科目の目標＝

声楽重唱曲・オラトリオ作品から個々の声種・声質に適した教材を基に声楽アンサンブルの基礎（ハーモニー・バランス・タイミング・音色）と音楽様式を修得する。お互いの声を聞き合う習慣を身につけ、自分の役割を認識するなかで、より高度で緻密なアンサンブルを構築できるようにする。また試聴会に向けてプログラムノートを執筆し、作品の背景を説明できるようにする。

＝履修の条件と学習の方法＝

譜読は各自授業前に完了しておくこと。原語の逐語訳を完成させ、意味を把握しておく。

＝授業内容＝

- 1回 ガイダンス：シラバス（講義の目標や内容）の確認。
- 2回 曲目選択、パート分け
- 3回 音楽練習（ロッシーニの重唱曲）
- 4回 音楽練習（パート練習）
- 5回 音楽練習（全体アンサンブル練習）
- 6回 音楽練習（ディクッション中心）
- 7回 音楽練習（シューマン・ブラームス）
- 8回 音楽練習（パート練習）
- 9回 音楽練習（全体アンサンブル練習）
- 10回 プログラムノート作成（対訳）
- 11回 プログラムノート作成（作品解釈）
- 12回 暗譜練習（ロッシーニ）
- 13回 暗譜練習（シューマン・ブラームス）
- 14回 暗譜練習（全体）
- 15回 スタジオ録音
- 16回 試聴会

＝成績評価の方法と評価の基準＝

- ・出席状況・授業に対する意欲。
- ・スタジオ録音と試聴会における演奏の評価、音楽的な協調性。

＝テキスト（必携）＝

特になし